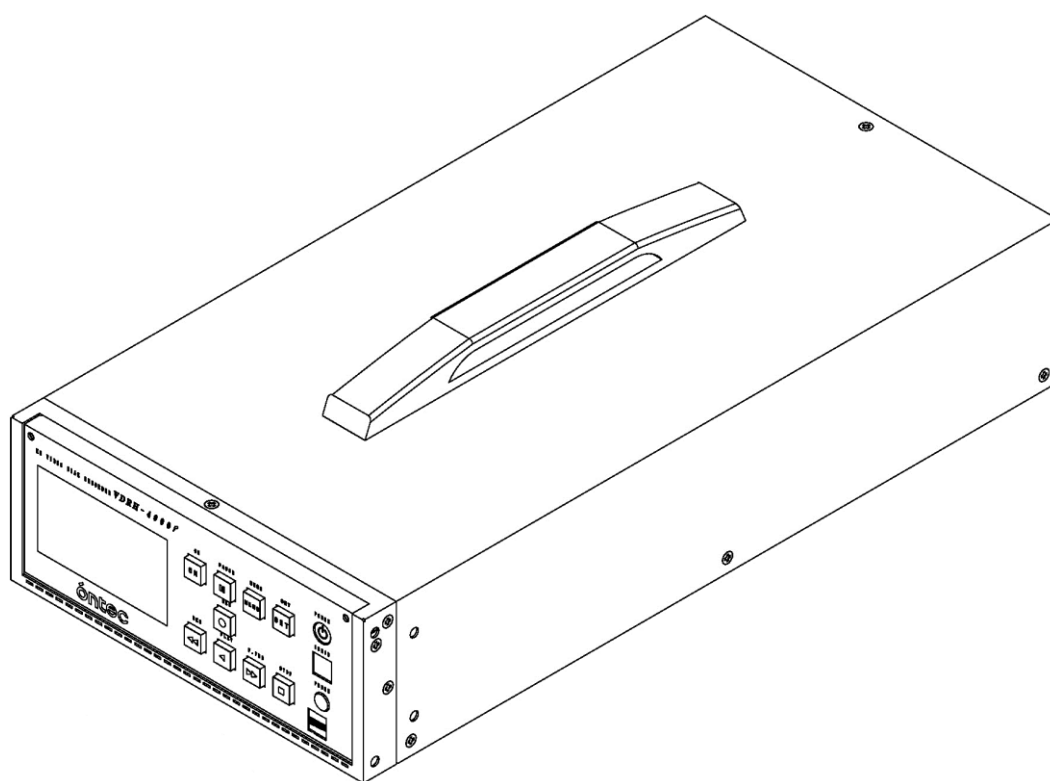


HDビデオディスクレコーダー

VDRH-4000P

操作説明書

(2016 年 5 月) Ver. 1.00



～目次～

1. 電源投入前の準備.....	5
2. 電源投入.....	5
3. 電源の切り方.....	5
4. 収録開始.....	6
5. 収録停止.....	6
6. 再生 / STILL(一時停止) / 停止.....	7
7. 早送り (FF)/巻き戻し (REW).....	8
8. Variable 再生.....	8
9. フレーム送り・戻し.....	9
10. 追っかけ再生.....	9
11. 収録ポイントの即時再生.....	10
12. アペンド REC(継ぎ足し収録).....	11
13. 録画しながら別のシーンを再生.....	12
14. エラーメッセージのクリア.....	12
15. LCD表示の切り替え.....	13
16. 強制リブート.....	13
17. 本体メニュー操作.....	14
1.) メニューの表示方法.....	14
2.) ADMIN MENU の表示方法.....	14
3.) 選択操作について.....	14
4.) 主なメニュー設定とその操作.....	15
1) REF 設定.....	15
2) REC モード設定.....	15
3) タイムコード設定.....	15
4) HD-OSD 表示設定.....	16
5) SYSTEM PHASE の設定.....	16
6) コンプレス.....	16
7) FORMAT.....	16
8) Cue Up TC の検索方法の変更.....	17
9) 422 からの STOP 動作の設定.....	17
10) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し.....	17
11) 422-2 からの収録操作.....	18
12) 再生中の 422-2 からの収録 TC Mark.....	18
5.) USER MENU.....	19
5.) - 1 USER MENU - SYSTEM.....	20
5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1.....	20
5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2.....	21
5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3.....	21
5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT.....	22

5.) - 1. - 5	USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE.....	22
5.) - 1. - 6	USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE.....	23
5.) - 2	USER MENU - AUDIO.....	24
5.) - 2. - 1	USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND.....	24
5.) - 2. - 2	USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B.....	25
5.) - 2. - 3	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH.....	25
5.) - 2. - 4	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL.....	26
5.) - 2. - 5	USER MENU - AUDIO - AUDIO SOURCE.....	26
5.) - 3	USER MENU - REC MODE.....	27
5.) - 3. - 1	USER MENU - REC MODE - REC TYPE.....	27
5.) - 3. - 2	USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME.....	28
5.) - 3. - 3	USER MENU - REC MODE - FS MODE.....	28
5.) - 4	USER MENU - PB MODE.....	29
5.) - 4. - 1	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1.....	29
5.) - 4. - 2	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 2.....	30
5.) - 4. - 3	USER MENU - PB MODE - TIME SHIFT MODE.....	31
5.) - 4. - 4	USER MENU - PB MODE - PB FRAME.....	31
5.) - 4. - 5	USER MENU - PB MODE - SYNC PLAY.....	32
5.) - 4. - 6	USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE.....	32
5.) - 4. - 7	USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE.....	33
5.) - 5	USER MENU - TIME CODE.....	34
5.) - 5. - 1	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE.....	34
5.) - 5. - 2	USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME.....	35
5.) - 5. - 3	USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME.....	35
5.) - 5. - 4	USER MENU - TIME CODE - EXT OFFSET TIME.....	36
5.) - 5. - 5	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE OUT.....	36
5.) - 6	USER MENU - RS422.....	37
5.) - 6. - 1	USER MENU - RS422 - JOG SETTING.....	37
5.) - 6. - 2	USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED.....	38
5.) - 6. - 3	USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED.....	38
5.) - 6. - 4	USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP.....	39
5.) - 6. - 5	USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE.....	39
5.) - 6. - 6	USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP.....	40
5.) - 6. - 7	USER MENU - RS422 - RS422 REC.....	40
5.) - 7	USER MENU - DISK.....	41
5.) - 7. - 1	USER MENU - DISK - FORMAT.....	41
5.) - 7. - 2	USER MENU - DISK - COMPRESS.....	42
5.) - 7. - 3	USER MENU - DISK - DELETE SELECT.....	42
5.) - 7. - 4	USER MENU - DISK - DELETE ALL.....	43
5.) - 7. - 5	USER MENU - DISK - IMPORT/EXPORT.....	43
6.)	ADMIN MENU.....	44

6.) - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1.....	45
6.) - 1. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME.....	45
6.) - 1. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM1 - VIDEO TYPE.....	46
6.) - 1. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM1 - IP ADDRESS.....	46
6.) - 1. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM1 - PASSWORD.....	47
6.) - 1. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM1 - ALWAYS ADMIN.....	47
6.) - 1. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM1 - POWER ON INHIBIT.....	47
6.) - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2.....	48
6.) - 2. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM2 - DEVICE TYPE.....	48
6.) - 2. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2 - ENABLE DI.....	49
6.) - 2. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM2 - ENABLE DO.....	50
6.) - 2. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 1.....	50
6.) - 2. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 1.....	51
6.) - 2. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 2.....	51
6.) - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3.....	52
6.) - 3. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM3 - PC POWER MODE.....	52
6.) - 3. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM3 - CONTROL ROUTE.....	53
6.) - 4	ADMIN MENU - AUDIO.....	54
6.) - 4. - 1	ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO IN LEVEL / AUDIO OUT LEVEL.....	54
6.) - 4. - 2	ADMIN MENU - AUDIO - STANDARD DECIBEL.....	54
6.) - 5	ADMIN MENU - DISK.....	55
6.) - 5. - 1	ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE.....	55
6.) - 6	ADMIN MENU - MENU SET.....	56
6.) - 6. - 1	ADMIN MENU - MENU SET - LOAD SETTING / SAVE SETING.....	56
6.) - 6. - 2	ADMIN MENU - MENU SET - SET DEFAULT / RECOVERY SETTING.....	57
6.) - 7	ADMIN MENU - MAINTENANCE.....	58
6.) - 7. - 1	ADMIN MENU - MAINTENANCE - DIAGNOSTICS.....	58
6.) - 7. - 2	ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW OP LOG.....	59
6.) - 7. - 3	ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW ERROR LOG.....	59
6.) - 7. - 4	ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW VERSION.....	60
6.) - 7. - 5	ADMIN MENU - MAINTENANCE - CLEAR LOG.....	60
6.) - 7. - 6	ADMIN MENU - MAINTENANCE - DOWNLOAD.....	60

1. 電源投入前の準備

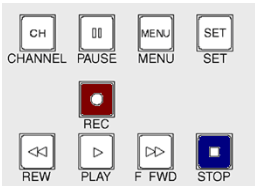
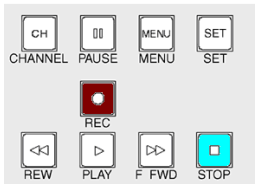
- HD-SDI 入力信号を接続して下さい。
- BB 同期信号を接続して下さい。
- DC 電源を接続して下さい。

※アプリケーション PC の接続については、それぞれの資料をご参照下さい。

2. 電源投入

- ① 前面パネルの POWER スイッチを 2 秒間長押しします。(電源供給モードによっては DC 電源を供給した時点で VDRH-4000P の電源が ON になります。詳しくは VDRH-4000P の取扱説明書をご覧ください。)
- LCD 画面に次のように表示されます。

起動状態の表示推移

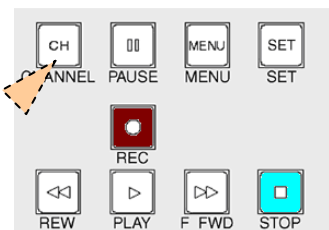
フロント LCD 画面	フロントパネルの操作ボタン
 [オープニングメッセージ]	
 [初期化中画面]	 しばらく処理が進むと、フロントパネルが全て消灯します。
 [起動完了/EE 画面]	 STOP ボタンの LED が点灯した状態になります。

※画面は、イメージです。表示内容はバージョンによって多少異なります。

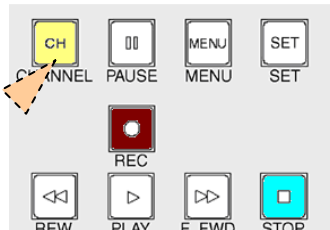
- この状態で、INHIBIT ボタンを消灯させれば操作が可能になります。

3. 電源の切り方

- 電源を切るときは、収録・再生が共に停止していることを確認してください。(CH ボタン押下で Ch 切り替え)



※Ach 停止状態のフロントパネル



※Bch 停止状態のフロントパネル

- 前面パネルの POWER スイッチを 2 秒間長押しします。

4. 収録開始

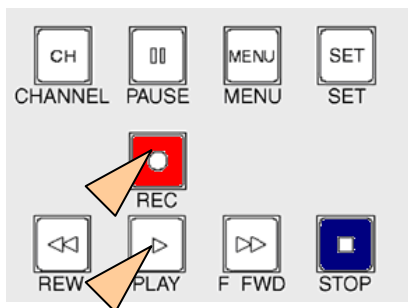
●収録を開始します。収録は、CH-A のみで実行可能な操作です。

- ① CH ボタンを押して消灯状態にします。これで CH-A が選択されています。
(起動直後は、この状態です。)



CH-A の表示になっています。

- ② REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押すと収録状態になります。

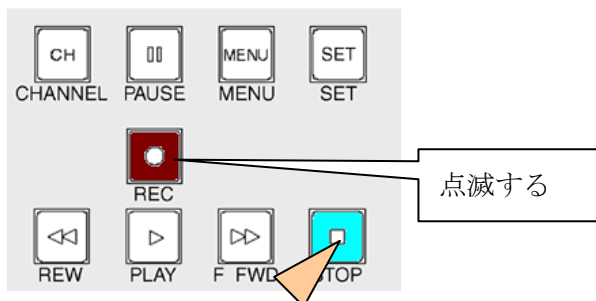


○収録中は、REC ボタンが点灯します。

5. 収録停止

●収録を停止します。

- ① 収録開始時と同様に、CH ボタンを消灯させ CH-A を選択します。
② STOP ボタンを押します。



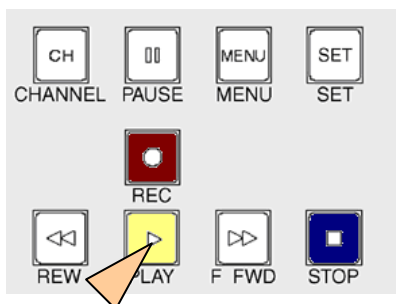
○REC LED が点滅後消灯し、STOP ボタンが点灯します。

○LCD のシーン番号が 1 つ増えます。

6. 再生 / STILL(一時停止) / 停止

●再生をします。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

- ① CH ボタンを押して、再生させたい CH に切り替えます。(CH ボタン消灯で CH-A、点灯で CH-B)
- ② PLAY ボタンを押します。

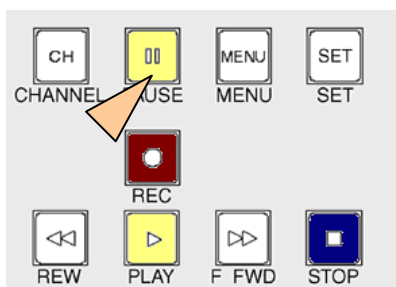


○PLAY ボタンが点灯します。

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定や、CH-A の状態によって異なります。

●再生を一時停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

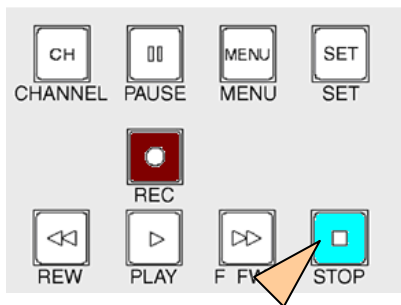
- ① PAUSE ボタンを押します。



○PAUSE ボタンが点灯して、再生が一時停止します。この状態で PLAY を押すと、再び、再生を始めます。

●再生を停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

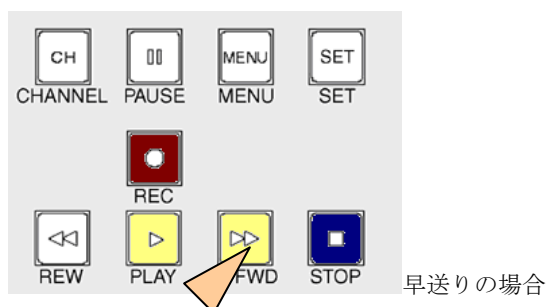
- ① STOP ボタンを押します。(STILL 状態からも同様です。)



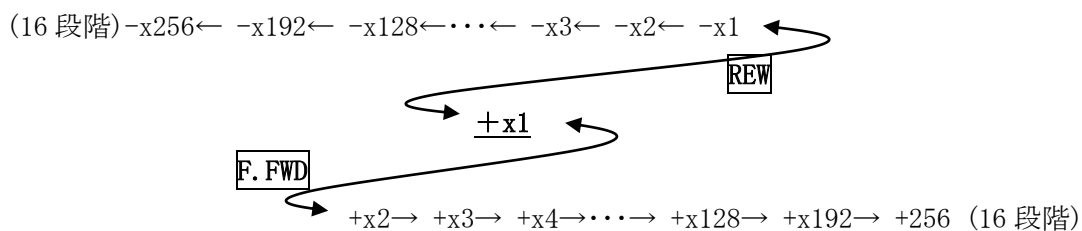
○PLAY ボタンが消灯し、STOP ボタンが点灯します。

7. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)

- ① PLAY 中に、F. FWD/REW ボタンを押すと早送り/巻き戻しができます



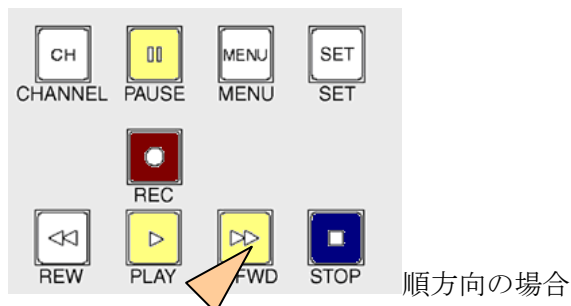
- それぞれの操作により、



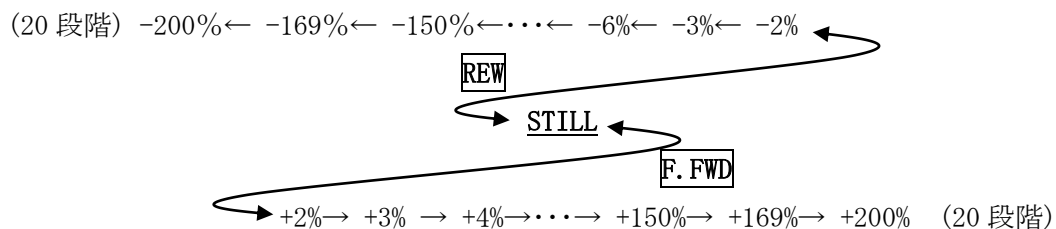
と、再生速度が変化します。

8. Variable 再生

- ① STILL 中に、順方向の場合 VAR+ボタンを押します。 逆方向の場合 VAR-ボタンを押します。



- それぞれの操作により、



と、再生速度が変化します。

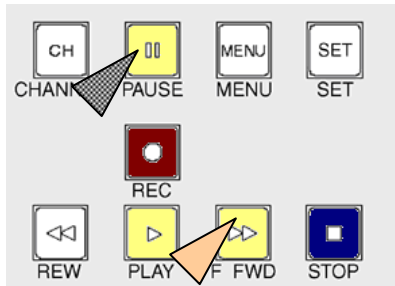
なお、x1 再生中にはPLAY を押しながら F. FWD/REW ボタンを押すと Variable 再生モードに入ります。

その後、PLAY を押さずに F. FWD や REW キーを押すことで、Variable の速度を変化させることができます。

9. フレーム送り・戻し

●再生停止状態(STILL)からコマ送り（フレーム送り）ができます。

- ① STILL 状態にします。
- ② PAUSE ボタンを押しながら、F.FWD ボタンで順方向、REW ボタンで逆方向にコマ送りします。

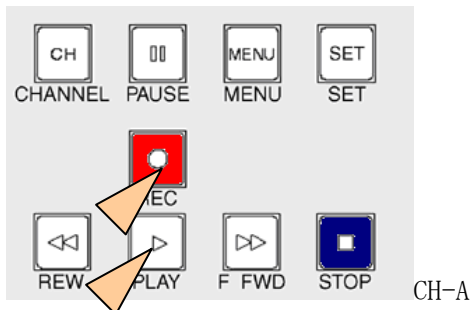


フレーム送りの場合

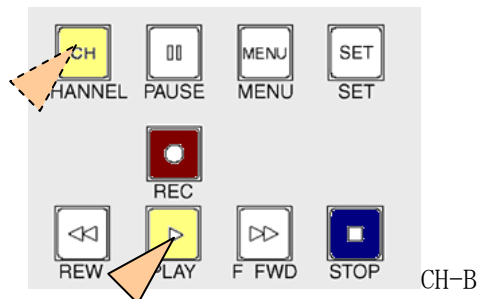
10. 追っかけ再生

●録画中の素材を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替え(CH ボタンを押し点灯させる)、PLAY ボタンを押します。



CH-A



CH-B

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定によって異なります。

補足) 収録を開始した時に、他のシーンを再生していた場合

再生を停止した後に、シーンを選択する必要があります。

CH-B 選択・再生停止状態で F.FWD ボタンをおして、LCD の SCENE 表示が“REC”になるまで押して下さい。

1 1. 収録ポイントの即時再生

●収録中シーンの収録ポイントを呼び出して再生します。(最小時差 1 秒)

① 下記のようにメニュー設定をします。

○USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2 : REC PNT

; CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイント呼び出します (FROM STOP と同様の動作)。

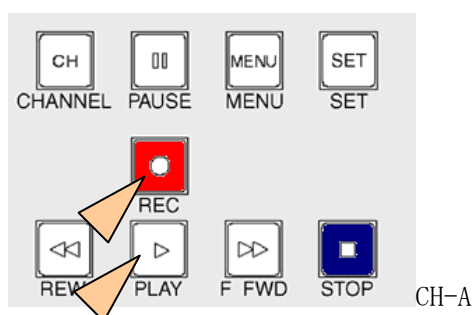
ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイント呼び出します。

; OFFSET = 任意の値に設定します。

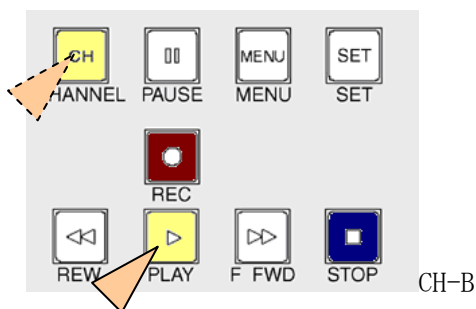
※カレントシーン：最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

○USER MENU⇒PB MODE⇒TIME SHIFT MODE : NORMAL (最小時差 1 秒設定) / TIME SHIFT (任意の時差値)

② CH-A を選択して、録画を開始します。



③ CH-B に切り替え (CH ボタンを押し点灯させる)、PLAY ボタンを押します。



※STILL 状態から PLAY した場合は、そのポイントから再生します。必ず、停止状態から PLAY 操作をして下さい。

補足) REC PNT の OFFSET 設定について

収録の TC に OFFSET 値を計算した値で頭だしを行ない、再生を開始します。

リアクション時間の補正や、簡易的なプリロールとして使用します。

再生開始点の OFFSET 値を設定するもので、再生時差を設定するものではありません。

12. アペンド REC(継ぎ足し収録)

●収録済みのシーンに対して、シーン番号を変えずに継ぎ足しでの収録ができます。

これにより、REC LOOP TIME を MAX に設定していた場合でも、いったん止めた後、Format せずに収録を再開できます。

下記のようにメニュー設定をします。

○USER MENU⇒REC MODE⇒REC TYPE : APEND NORMAL / APEND LOOP

; APEND NORMAL = APPEND NORMAL/継ぎ足し通常収録のこと。この設定にした場合、最後のシーンに継ぎ足しで収録をします。

ただし、最後のシーンが LOOP 収録で設定時間を満たしていた場合(古い映像が上書きされ始めている場合)、この収録はできません。

また、最後のシーンに DELETE FLAG※が立っていた場合も、この収録はできません。

; APEND LOOP = APPEND LOOP/継ぎ足し LOOP 収録のこと。この設定にすると、最後のシーンに継ぎ足しで、LOOP 収録をします。LOOP 時間は、USER MENU⇒REC MODE⇒REC LOOP TIME に従います。

ただし、最後のシーンに DELETE FLAG が立っていた場合も、この収録はできません。

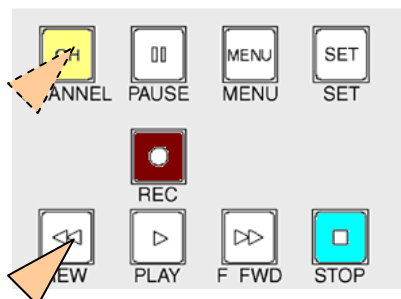
※DELETE FLAG については、P42「USER MENU - DISK - DELETE SELECT」を参照して下さい。

メニュー設定従ったアペンド REC ができなかった場合、新たなシーンに、NORMAL または LOOP で収録を始めます。

1 3. 録画しながら別のシーンを再生

●収録中に、収録しているシーン以外を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替えます。(CH ボタンを押し点灯させる)、
- ③ REW ボタンを押します。



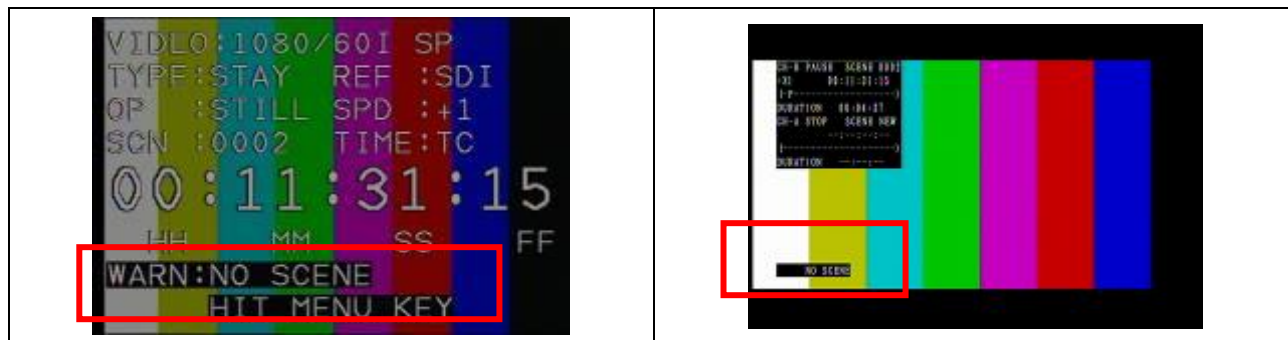
○LCD のシーン No. が戻ります。(戻しすぎた場合は、F. FWD ボタンを押します。)

- ④ PLAY ボタンを押します。
- 選択されたシーンが再生されます。

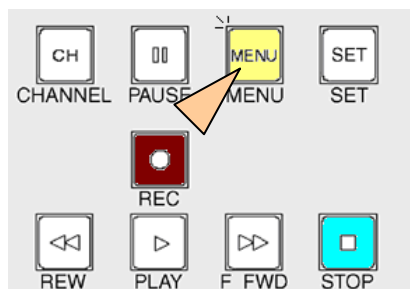
1 4. エラーメッセージのクリア

●本体で発生したエラーメッセージをクリアします。

○VDRH-4000P 本体でエラーが発生した場合、LCD か HD-SDI MONI OUT に、エラーメッセージが表示されます。



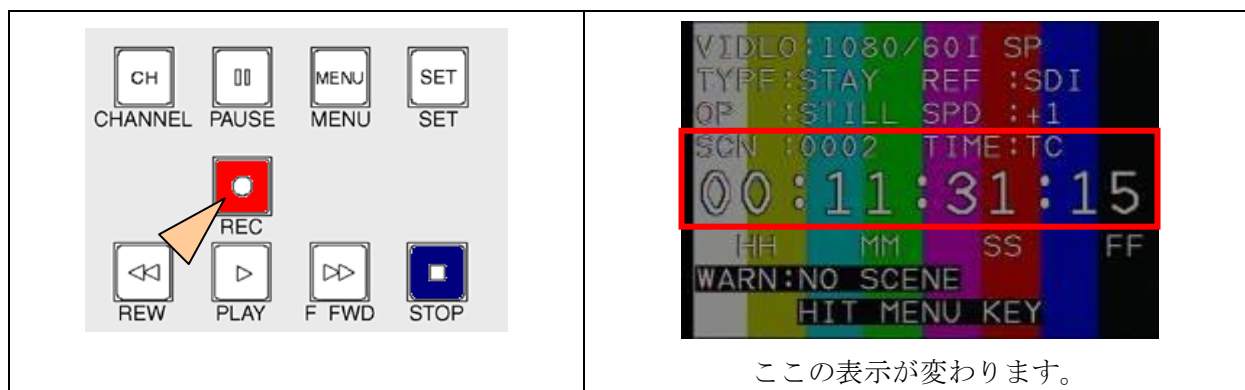
点滅している MENU ボタンを押します。



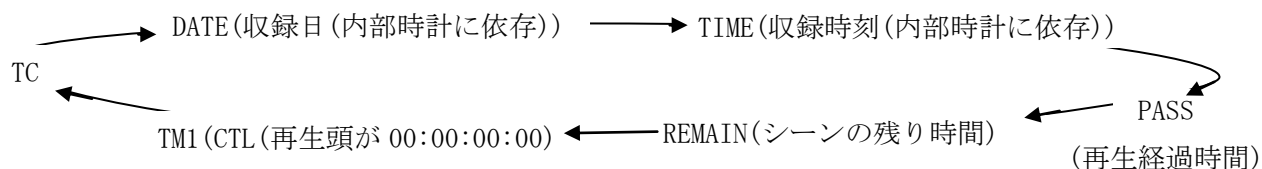
○複数のエラーが同時に発生している、一つをクリアすると、再度、別のメッセージが表示されます。

15. LCD表示の切り替え

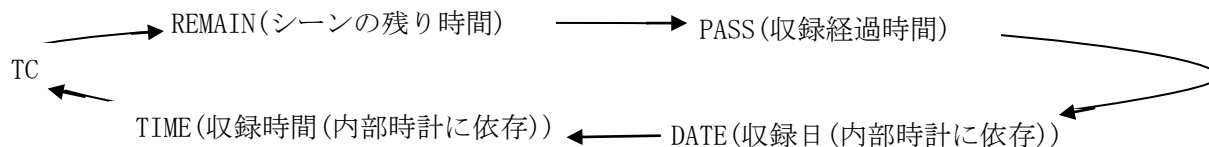
- 本体LCDの表示をFULLにしている場合、ディスクの残量や再生リメインなどを確認することが出来ます。



再生中の場合：再生中に REC ボタンを押す。



収録中の場合：収録中に Ch-A 選択

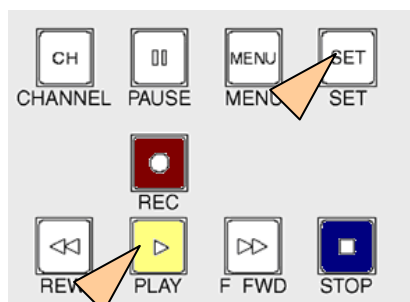


上記のサイクルで順に表示が切り替わります。

16. 強制リブート

- 再生側で送出映像に異常があった場合、強制リブートによりデコーダーのリセットをかけます。

① 再生中に、SET ボタン+PLAY ボタンを押します。



○再生側で強制リブートがかかり、送出映像が1～2秒乱れます。

○リブートが完了すると、そのまま再生を続けます。

17. 本体メニュー操作



※画面は一部合成です

1.) メニューの表示方法

KEY INHIBIT が解除された状態で、MENU ボタン を押すとメニューモードになります。

※MENU モードに入ると、基本動作に関する操作が全て不能になります。

○USER MENU => ユーザーで設定する内容です。

○ADMIN MENU => システム構築に関するメニューです。

○個体のシリアル番号が表示されます。

2.) ADMIN MENU の表示方法

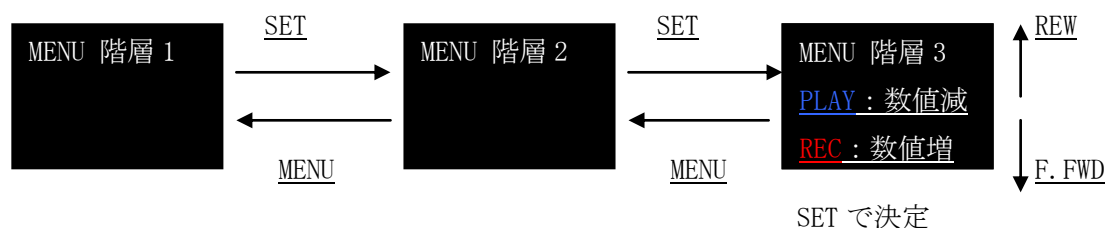
「ADMIN MENU⇒SYSTEM3⇒ALWAYS ADMIN」を“OFF”に変更した状態で電源を切ってしまうと、次回以降の起動時には、ADMIN MENU が表示されません。

ADMIN MENU を呼び出すには、フロントパネルの任意の **3つのキー**を押したまま、**本体を起動**し、起動が完了するまで押し続けて下さい。

ADMIN MENU を呼び出して本体を起動した場合、本体を再起動するまで、非表示にすることは出来ません。

3.) 選択操作について

- プロンプトの下(もしくは左)移動は F.FWD キー、上(もしくは右)移動は REW キー 選択したモードに入るのは SET キー、上の階層に戻るのは、MENU キーで行います。最下層での決定は SET キーで行います。
数値の増減設定のあるメニューでは、REC キーで数値増、PLAY キーで数値減します。



- メニューモードを抜けるには、MENU の TOP 画面で MENU ボタンを押します。

- PLAY 及び REC 動作中には、変更できないメニューや表示されないメニューがあります。

4.) 主なメニュー設定とその操作

1) REF 設定

REF 信号を選択します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒SYNC TYPE」から設定して下さい。

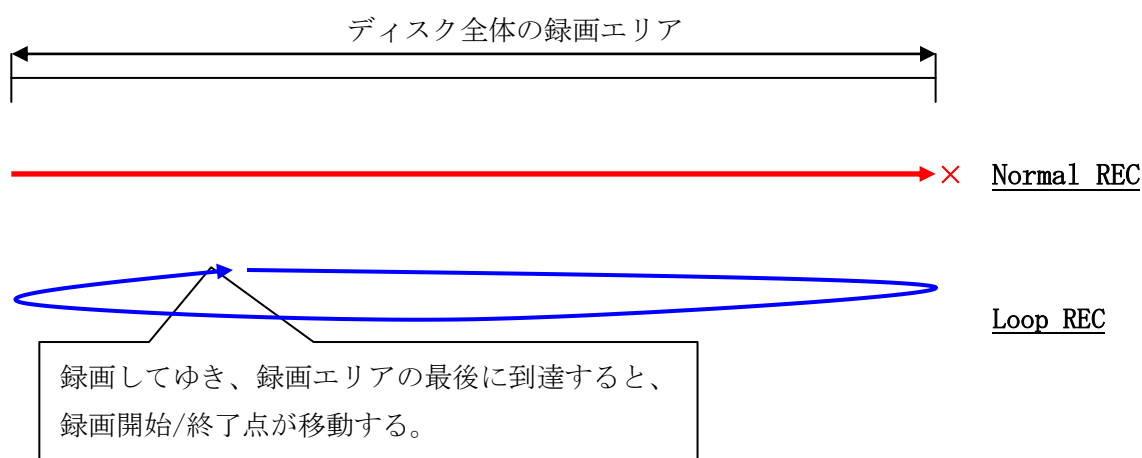
2) REC モード設定

VDRH シリーズでは、収録モードを Normal REC と Loop REC のどちらかを選択できます。

Normal REC とは、ディスクの容量がいっぱいになると収録を停止するモードです。

Loop REC とは、任意の時間※分を録画して一杯まで記録した後は、古いものから上書きしてゆく収録方法です。

※ディスクの制限容量以上の時間は、設定できません。



「USER MENU⇒REC MODE⇒REC TYPE」から選択できます。

※収録シーンが一つの場合のイメージです。先に収録されたシーンが存在する場合は、残り時間分しか記録されません。

※VDRH シリーズの場合、ディスク残量が 24 時間以上ある場合でも、24 時間以上のシーンは作れません。

3) タイムコード設定

TIME CODE の外部 TC/内部 TC モードを切り替えます。

内部 TC モードには INTERNAL/FREERUN/REC RUN があります。

外部 TC モードには EXTERNAL/SDI VITC/SDI LTC があります。

FREERUN/REC RUN の場合に、ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り変えます。

FREERUN/REC RUN の場合の PRESET TIME を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒・・・」から設定して下さい。

<FREERUN/REC RUN の PRESET 方法>

「USER MENU⇒TIME CODE⇒PRESET TIME」から設定します。

数字が表示されているところに、任意の TC を入力し(入力方法は、前頁をご覧ください。)、 “SET” にプロンプトを合わせて SET キーを押下します。

<Internal の PRESET 方法>

INTERNAL モードの TC は、本機内部時計 (REAL TIME CLOCK) を使用しています。従って、内部時計の年月日と時刻で変更 (プリセット) します。

「ADMIN MENU⇒SYSTEM 1⇒DATE TIME」から VDRH の内部時計を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒TIME CODE MODE」を、“Internal” に設定します。

(先に “Internal” になっていた場合、一度別のモードを選択 (プロンプトを合わせて SET 押下) した後、再度 “Internal” に設定して下さい。)

この時計は、ログの時間としても使用していますので、本体の設置直後に設定し、その後は、変更されないことを推奨します。

4) HD-OSD 表示設定

MONI OUT に表示される内容を設定します。

表示 CH (EACH/BOTH) の切り替えや、大きさ、位置などもこのメニューから設定します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒HD OSD DISPLAY #」から設定して下さい。

5) SYSTEM PHASE の設定

SYSTEM PHASE をライン単位・クロック単位で調整できます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒SYSTEM PAHSE」から設定して下さい。

6) コンプレス

シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

「USER MENU⇒DISK⇒DELETE SELECT」から、不要なシーンを選択します。

リストから、REW/F. FWD (カーソル左右移動)・REC/PLAY (カーソル上下移動) でシーン No. を選択し、SET キーの押下で、DELETE フラグのマーク、マーク解除を行います。フラグを立てると、“D” の表示になります。この D マークのあるシーンが、コンプレスの対象となります。

「USER MENU⇒DISK⇒COMPRESS」を実行すると、不要なシーンが削除され、削除した分の記録可能時間が増えます。

※コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

7) FORMAT

VDRH に記録されている素材を全て削除します。復旧は出来ません。

この操作を実施する場合、両 Ch とも停止している必要があります。

「USER MENU⇒DISK⇒FORMAT」を実行して下さい。

8) Cue Up TC の検索方法の変更

422 コントローラなどから、Goto TC をする場合に、指定した TC を、

『すべてのシーンから※(FROM FIRST) 検索するか』

『最後に再生した(Current) シーンのみから検索するか』を設定します。

「USER MENU→PB MODE→CUEUP SCENE」で設定できます。

※ “FROM FIRST” に設定している時、同 TC が複数のシーンに存在する場合には、

カレントシーン⇒REC 中シーン(Ach が収録中の場合)⇒シーン番号の小さいシーンの順に優先で Cue Up されます。

9) 422 からの STOP 動作の設定

422 コントローラから PB STOP/REC STOP の操作を行った時の動作を、次のように設定することが出来ます。

REC STOP について：

STOP (停止する)

IGNORE (操作を無視する)

PB STOP について：

STILL (一時停止)

STOP (停止する)

「USER MENU→RS422→RS422 REC」 「USER MENU→RS422→RS422 PB STOP」から設定できます。

10) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し

Ach が収録中で Bch が STOP の時、422 系コントローラで再生操作(PLAY / VAR / JOG / SHUTTLE)をすると、現在の収録ポイントに頭だしすることが出来ます。(設定時は、パネルの PLAY も同様の動作をします)

「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」： REC PNT

；CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します (FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

※カレントシーン：最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

；OFFSET = この数値を設定すると、再生操作を行った収録 TC から、任意のフレーム数分ずらしたポイントと呼び出せます。(-150f(-5s)～+30(+1s)f)

※再生時差を指定するものではありません。

「USER MENU⇒PB MODE⇒TIME SHIFT MODE」： MINIMUM(時差 0.5 秒)

※PLAY 操作をすると 0.5 秒時差で再生されます。そのまま x1 倍速の再生を行った場合、0.5 秒時差を保ち継続することは出来ません。一定の時差を保持したまま連続再生する場合は、1 秒以上の時差が必要になります。

※NORMAL 設定でも動作します。その場合、Cue Up 可能な時差の制限が、収録点から最短 1 秒になります。

11) 422-2 からの収録操作

DNF 社 ST-300 または、武蔵社 MDC-50Tb を使用した場合、Ach(422-1)へコントローラを接続しなくても、収録/収録停止操作を行うことができます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒RS422 REC⇒422-2 REC」を“ON”に設定して下さい。

なお、収録開始/収録停止は、各コントローラの収録開始(REC)操作になります。

(収録中に収録開始(REC)操作をすると収録停止になります。)

また、DNF 社 ST-300 を使用した場合、「同メニュー⇒422-2 REC FLG」を“ON”にすると、REC ボタンの収録ステータスが反映されます。

「422-2 REC FLG」を“ON”にするとコントローラによって正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、“OFF”でご使用下さい。

12) 再生中の 422-2 からの収録 TC Mark

DNF 社 ST-300 を使用した場合、Bch を停止しなくても、コントローラ上の切り替え操作によって、収録 TC から Cue 点登録を行うことができます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒SELECTION ON EE」を、“TCG OUT ON EE”に設定して下さい。

ST-300 の EE ボタンが点灯時は、収録 TC で Cue 点登録を行うことができます。消灯時は、再生 TC になります。

<主なコントローラと VDRH の機能>

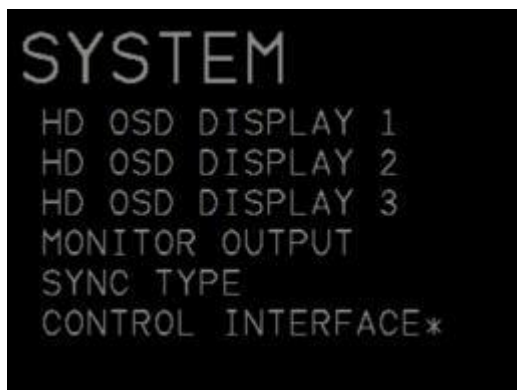
機能 \ コントローラ	DNF 社 ST-300	武蔵社 MDC-50Tb	SONY 社 DTR-3000
422-2 からの収録操作	可	可	不可
REC FLG の使用	可	不可	不可
収録 TC からの Mark	コントローラの EE 切替え (422 接続は <u>1 本</u>) または、Bch を停止する	カップリング機能を使用し、ポートを切替え (422 接続は <u>2 本</u>) または、Bch を停止する	Bch を停止する

5.) USER MENU

●MAIN MENU から USER MENU 選択（プロンプト選択）、SET キー押下で USER MENU になります。



5.) - 1 USER MENU - SYSTEM



5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1

●HD SDI (SUPER)出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の設定をします。

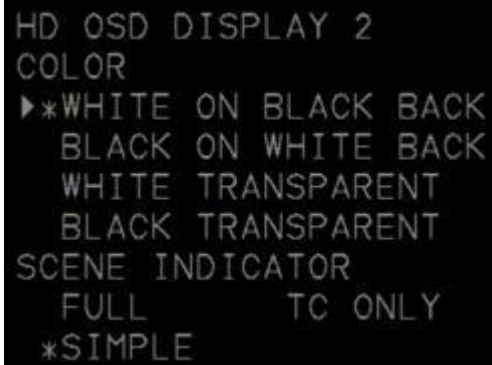


○CHANNEL => 記録、記録再生共、なしの設定です。なしの場合は送出として使用できます。

○POSITION => OSD を出す画面位置を指定します。(0,0)は左上隅です。

5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2

●HD SDI (SUPER)出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY)の文字、出力レイアウトを設定します。



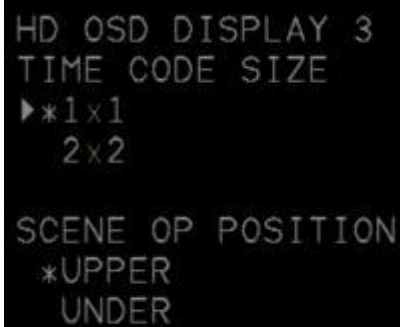
HD OSD DISPLAY 2
COLOR
▶*WHITE ON BLACK BACK
BLACK ON WHITE BACK
WHITE TRANSPARENT
BLACK TRANSPARENT
SCENE INDICATOR
FULL TC ONLY
*SIMPLE

○COLOR => 黒バックに白文字、白バックに黒文字、透過バックで白文字、透過バックで黒文字が選択できます。

○SCENE INDICATOR => 全て、簡略、TC のみの表示の選択ができます。

5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3

●HD SDI (SUPER)出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY)の TC の文字の大きさと、インジケータの位置を設定します。



HD OSD DISPLAY 3
TIME CODE SIZE
▶*1×1
2×2
SCENE OP POSITION
*UPPER
UNDER

○TIME CODE SIZE => 1×1 : 通常の大きさです。 2×2 : 縦横 2 倍の大きさです。

○SCENE OP POSITION => タイムコードの表示位置の上下を設定します。

5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT

●本体再生停止時に、HD-SDI OUT に何を出力するかを選択します。

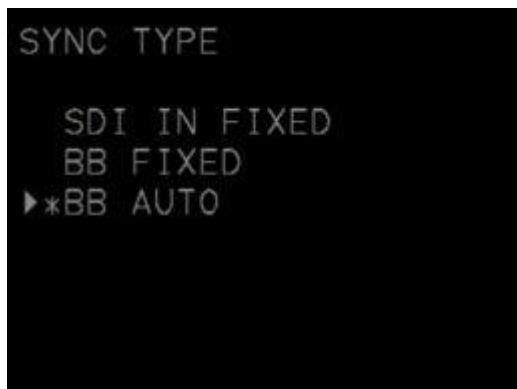


○EE => HD-SDI 入力画像を出力します。

○BLACK BACK => 同相の黒画像を出力します。

5.) - 1. - 5 USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE

●外部リファレンスを選択します。



○SDI IN FIXED => 外部同期を持たない機器との接続にお使い下さい。SDI 入力にロックします。

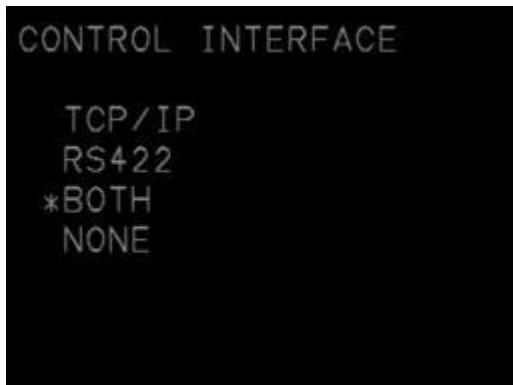
○BB FIXED => BLACK BURST 信号のみにロックします。

○BB AUTO => BLACK BURST→SDI-IN →INTERNAL の順にロックします。

通常はこのモードでお使い下さい。

5.) - 1. - 6 USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE

- 外部コントロールに使用するポートを選択できます。



○TCP/IP⇒外部コントロールを Ethernet のみで受け付ける設定です。

○RS-422⇒外部コントロールを RS-422 のみで受け付ける設定です。

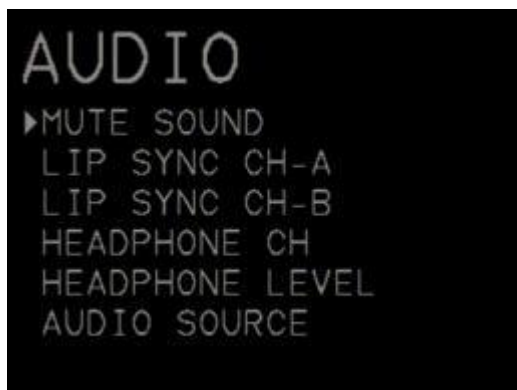
○BOTH⇒外部コントロールを Ethernet と RS-422 両方から受け付ける設定です。

○NONE⇒外部コントロールを使用できません。Ethernet は PING も受け付けません。

後述する「IP ADDRESS」メニューで設定された IP ADDRESS は無視され、設定されません。

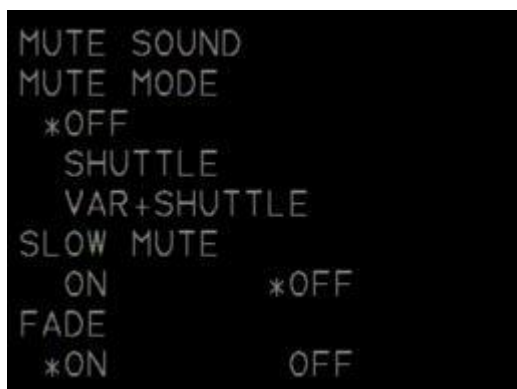
※この項目を確定するには、電源の再投入が必要です。

5.) - 2 USER MENU - AUDIO



5.) - 2. - 1 USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND

●スロー再生時の音声出力の設定をします。



○MUTE MODE⇒OFF : MUTE しません。

SHUTTLE : SHUTTLE 動作の時は MUTE します。

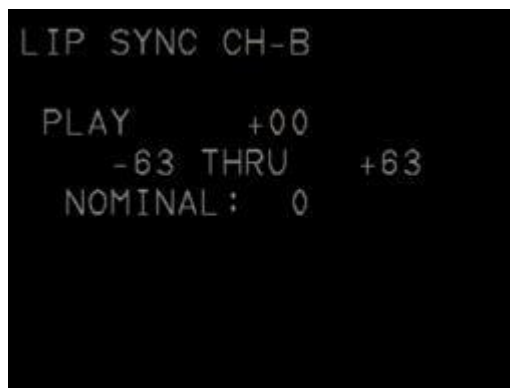
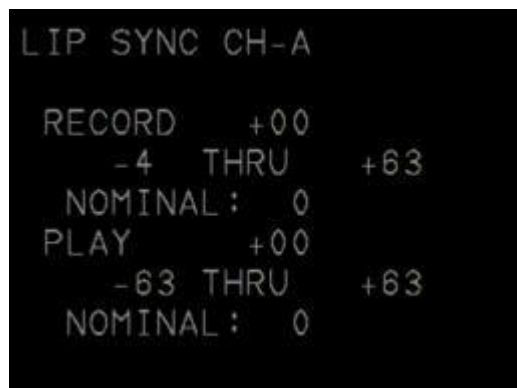
VAR+SHUTTLE : 全てのスロー動作の時に MUTE します。

○SLOW MUTE⇒ON の場合、MUTE MODE が “VAR+SHUTTLE” 設定以外であっても、±10%以下の速度の時は MUTE します。

○FADE⇒音の立ち上がりに FADE をかけるかどうかの設定をします。

5.) - 2. - 2 USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B

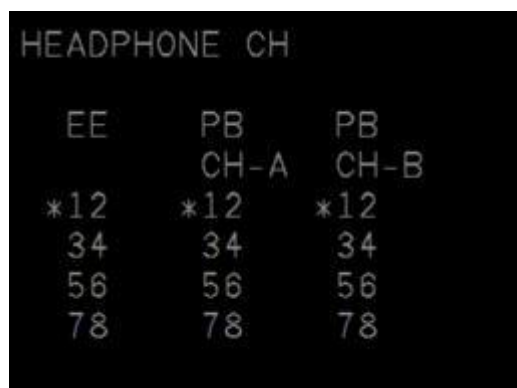
●映像と音声の再生時間を調整します。



○設定単位はフィールドです。1 フィールドは約 16.6msec です。

5.) - 2. - 3 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH

●フロントパネルの PHONE 端子にどの音声を出力するかを設定します。



○EE の列 => 再生停止中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

○PB の列 => 再生中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

5.) - 2. - 4 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL

●HEAD PHONE の出力を設定します。

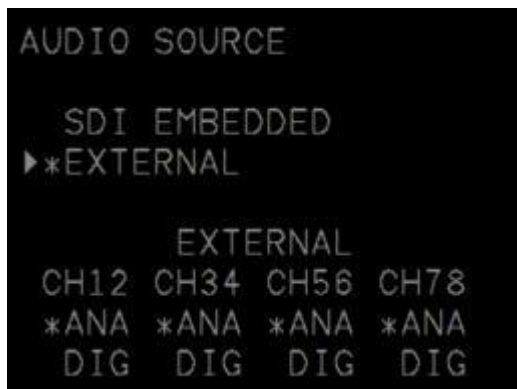


○REC キー(+) PLAY キー(-)で調整します。

※高い数値(5～9)は出力が高いので注意して下さい。

5.) - 2. - 5 USER MENU - AUDIO - AUDIO SOURCE

●音声入力の種類を選択します。



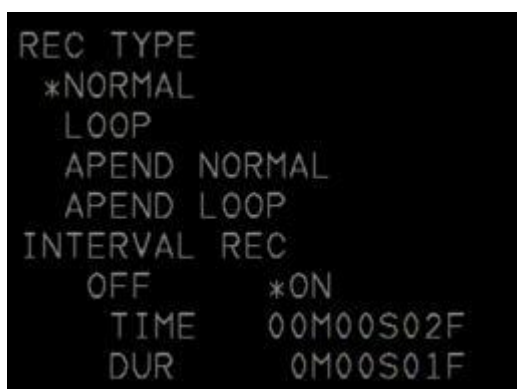
○EXTERNAL (ANALOG または AES/EBU) 設定でご使用になる場合には、別売のオーディオオプションボックスが必要になります。

5.) - 3 USER MENU - REC MODE



5.) - 3. - 1 USER MENU - REC MODE - REC TYPE

●これから録画するシーンの録画属性を設定します。



○NORMAL => 通常シーン。始点～終点まで。

○LOOP => REC LOOP TIME で指定された時間でループ録画をします。

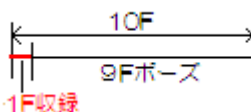
○APPEND NORMAL => 最後のシーンに継ぎ足し収録をします。※

○APPEND LOOP => 最後のシーンに継ぎ足し LOOP 収録をします。※

※最後のシーンが LOOP している場合、APPEND NORMAL はできません。また最後のシーンに DELETE FLAG が立っている場合、APPEND 収録はできません。

○INTERVAL REC => INTERVAL REC の ON/OFF を切り替えます。

TIME は動作間隔です。DUR は動作間隔の頭からどのくらいの長さを収録するかです。



例 : TIME 1 0F / Dur 1 F の場合 1F収録

5.) - 3. - 2 USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME

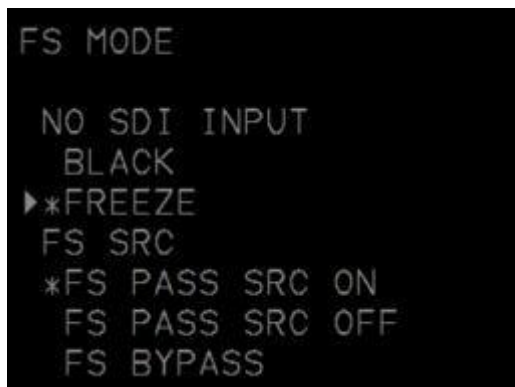
●ループ録画の折り返し時間を設定します。



○VDRH-4000P の SSD 搭載タイプ(SSD 800GB)では 10 時間しか収録できません。16HOURS～20HOURS の設定を行っても MAX (約 12 時間または 10 時間)と同等になります。

5.) - 3. - 3 USER MENU - REC MODE - FS MODE

●入力部の FRAME SYNCRONIZER と SAMPLING RATE CONVERTER の動作を設定します。



○NO SDI INPUT では、SDI が無入力になった場合の FS 出力を選択します。

BLACK BACK : 同相の黒画像を出力します。

FREEZE : 無入力になる直前の画像(1F)をホールドして出力します。1F でのフリーズなので、ODD/EVEN を連続出力するため、完全な静止画にはならない場合があります。

○FS SRC では、FS や SRC(サンプリングレートコンバータ)の BYPASS 設定が出来ます。

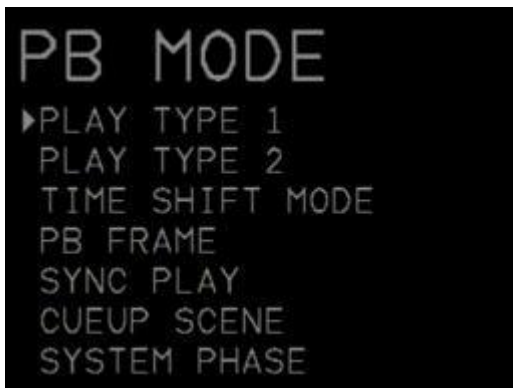
FS PASS SRC ON : FS/SRC とも機能します。

FS PASS SRC OFF : FS は機能しますが、SRC は機能しません。

FS BYPASS : FS/SRC とも機能しません。非同期信号の記録は出来ません。

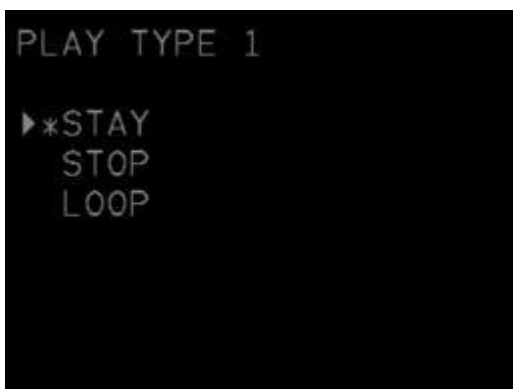
※DOLBY-E 信号を使用する場合は、SRC が機能しないいずれかの設定でご使用下さい。

5.) - 4 USER MENU - PB MODE



5.) - 4. - 1 USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1

●シーン再生時、終端での動作を指定します。

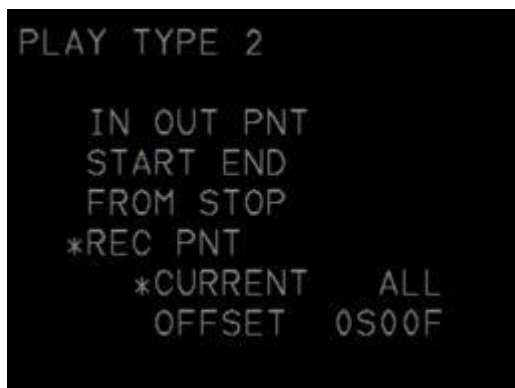


○STAY => STILL します。

○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

○LOOP => シーンの始めに戻ってシームレスに再生します。

●シーンの再生開始・終了点を指定します。



※REC PNT は、1 秒時差対応オプション搭載版の場合

○IN OUT PNT => IN 点から OUT 点までを再生します。

(アプリケーションから登録された、そのシーンのクリップ番号 1 番に該当)

○START END => シーン開始点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

○FROM STOP => 前回再生停止した地点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

シーンを変更した場合は、シーン開始点から再生開始になります。

○REC PNT => Ach が収録中の場合、収録点から再生を開始します。(※ 1)

; CURRENT = カレントシーン(※ 2)が収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します(FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

※カレントシーン:

; OFFSET =この数値を設定すると、操作を行った TC から任意の秒・フレーム数分ずらしたポイントと呼び出せます。(-5s~+0f)(※ 2)

※ 1) x1 倍再生を継続する場合は、1 秒以上の時差を取ってください。

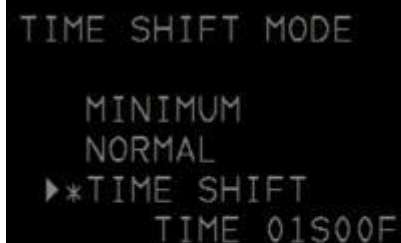
※ 2) カレントシーンとは、最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

※ 3) 再生時差を指定するものではありません。再生開始点を設定するものです。

5.) - 4. - 3 USER MENU - PB MODE - TIME SHIFT MODE

※ 1 秒時差対応オプション搭載版の場合のみ表示

●最短の時差の設定をします。



```
TIME SHIFT MODE  
  
MINIMUM  
NORMAL  
▶*TIME SHIFT  
    TIME 01S00F
```

○MINIMUM : 422 から最短でキューアップを行う場合、こちらに設定すると、収録から 0.5 秒後に呼出が可能になります。収録点を呼び出した後、数秒後にリプレイをする場合などには、こちらの設定が便利です。x1 倍再生を継続する場合は、1 秒以上の時差を取ってください。

○NORMAL : 最短時差が 1 秒に制限されます。

○TIME SHIFT : こちらに設定すると、収録の先頭と再生の先頭の最小時差値が指定した任意の値になります。この機能を使う場合、PLAY TYPE 2 の設定を、「REC PNT」に設定する必要があります。(1s~60s(±1f))

5.) - 4. - 4 USER MENU - PB MODE - PB FRAME

●FRAME の出力方法を設定します。



```
PB FRAME  
  
▶*FIELD(Interlace)  
    FRAME(PsF)
```

○FIELD(Interlace) : 1 FRAME を ODD/EVEN の 2 FIELD で構成し、INTERLACE で描画します。

○FRAME(PsF) : 1 フィールドと 2 フィールドの両方に同じ画を収録することでプログレッシブの様に出力します。

5.) - 4. - 5 USER MENU - PB MODE - SYNC PLAY

●A チャンネル側で PLAY したときに、B チャンネルも同時に再生を開始（2 チャンネル同期再生）する設定ができます。



○同期再生を行う際には、A チャンネル／B チャンネル共に、再生したいシーンの指定フレームを呼び出しておく必要があります。

5.) - 4. - 6 USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE

●CUE UP 動作をどのように行うかを指定します。

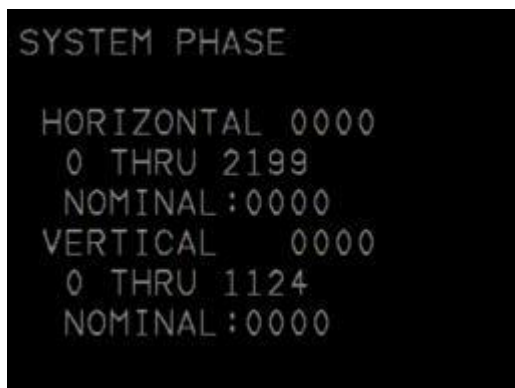


○CURRENT => 最後に再生されたシーンから TC を探して CUE UP します。

○FROM FIRST => まず最後に再生されたシーン、次に REC 中シーン (Ach が REC 中の場合のみ)、最後にシーン番号の小さい方から順番に検索し、最初に見つけたシーンで CUE UP します。

5.) - 4. - 7 USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE

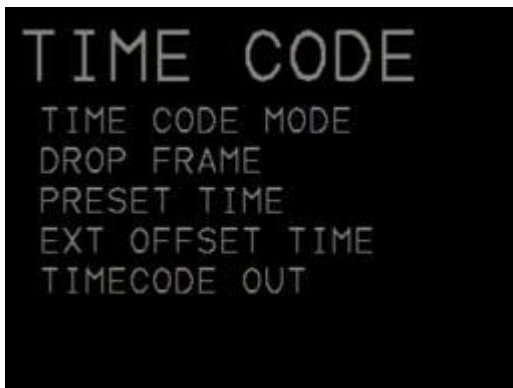
●システムフェーズの設定です。



○HORIZONTAL => 水平方向のフェーズを調整します。単位はクロックです。

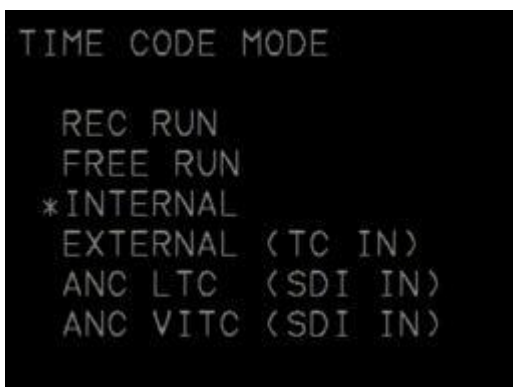
○VERTICAL => 垂直方向のフェーズを調整します。単位はラインです。

5.) - 5 USER MENU - TIME CODE



5.) - 5. - 1 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE

●タイムコードモードを選択します。



○REC RUN => プリセット値から、記録している場合のみ積算カウントします。

○FREE RUN => プリセット値から、積算カウントします。記録していない時もカウントします。

○EXTERNAL (TC IN) => 外部タイムコードを使用します。本体平面の TC IN のポートを使用します。

○INTERNAL => 本体内蔵のリアルタイムクロックを使用します。

○ANC LTC/VITC (SDI IN) => SDI に重畳されてそれぞれのデータを使用します。

5.) - 5. - 2 USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME

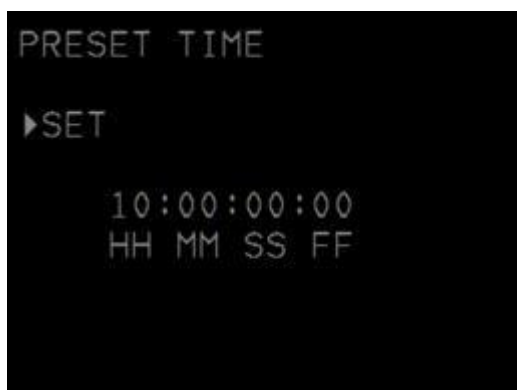
●DROP FRAME、NONDROP FRAME の設定を行います。



○設定に基づいて、タイムコードが記録されます。

5.) - 5. - 3 USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME

●タイムコードをプリセット（強制的に設定値にする）します。



○TIME CODE MODE が、FREE RUN、REC RUN の場合に有効です。

5.) - 5. - 4 USER MENU - TIME CODE - EXT OFFSET TIME

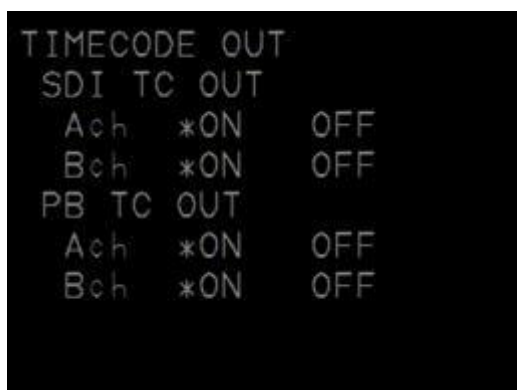
●外部 TC (EXTERNAL/ANCI)を使用する場合に、OFFSET を付けて収録することができます。



○「ON」に設定すると、任意の値が入力 TC に OFFSET されて収録されます。出力には OFFSET できません。

5.) - 5. - 5 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE OUT

●SDI OUT の信号に TC を重畳するかの設定と再生時の TC OUT (BNC) の選択が出来ます。



○SDI TC OUT => 「OFF」に設定すると、SDI OUT のアンシラリデータに TC が重畳されません。

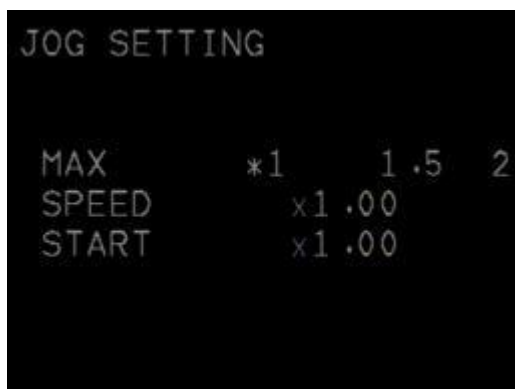
○PB TC OUT => 「OFF」に設定すると、再生しても TC OUT からは、TCG の値を出力します。

5.) - 6 USER MENU - RS422



5.) - 6. - 1 USER MENU - RS422 - JOG SETTING

●ジョグ・スピードの最大値と速度倍率を設定します。



○MAX => コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

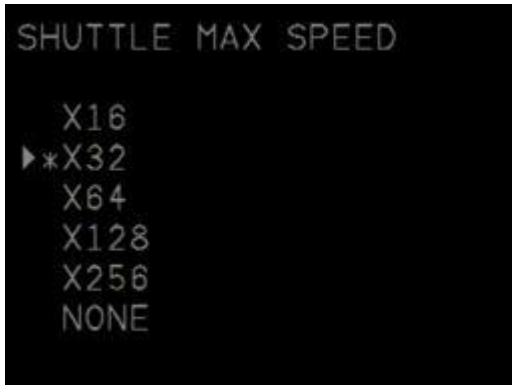
○SPEED => コントローラから送られるジョグのスピードに倍率をかけます。

設定範囲は、x0.3～x9.0 です

○START => STILL 状態から JOG を回し始めるときコントローラから送られるスピードに、この倍率をかけます。設定範囲は、x0.20～x1.20(0.05Step)です。

5.) - 6. - 2 USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED

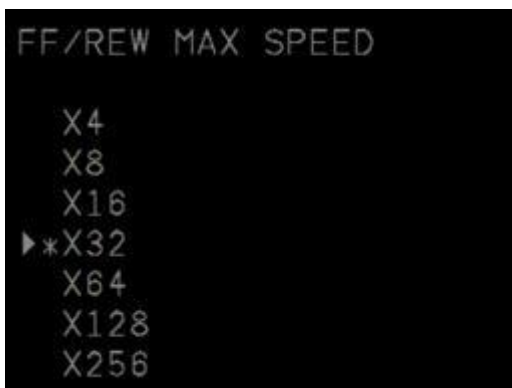
●シャトル操作での最大スピードを設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

5.) - 6. - 3 USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED

●コントローラから FF REW 命令がきた場合、速度をいくりにするかの設定です。



○ディスクシステムでは、高速の早送り、巻き戻しが可能です。

5.) - 6. - 4 USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP

●422-2(再生チャンネル)でSTOP 命令を受けた時の動作設定です。

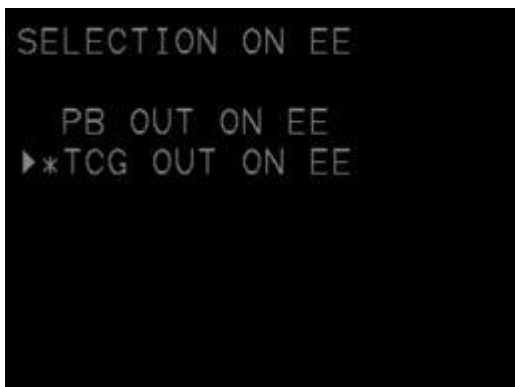


○STILL => 静止状態になります。

○STOP =>停止します。出力はMONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

5.) - 6. - 5 USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE

●EE 画面(入力があって、再生が停止している時)TIME CODE に何を出すかの設定。

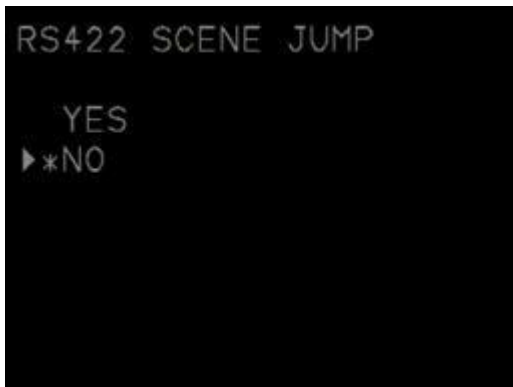


○PB OUT ON EE => 再生のタイムコードが出力されます。

○TCG OUT ON EE => 入力されているタイムコードが出力されます。

5.) - 6. - 6 USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP

●シーン始点で REW、シーン終点で FF を受けた時にシーン移動を許可するかどうかの設定です。



○YES => シーン始点で REW を受けると一つ前のシーンの終端に、シーン終点で FF をうけると 次のシーンの先頭に移動(STILL)します。

○NO => この機能を使用しません。

5.) - 6. - 7 USER MENU - RS422 - RS422 REC

●コントローラからの収録動作に関する設定です。



○REC STOP => 422-1 に接続されているコントローラから STOP 命令がきた場合に録画を停止するかの設定をします。

○422-2 REC => 422-2 に接続されているコントローラから、REC 開始命令がきた場合に録画を開始/停止します。

○422-2 REC FLG => 422-2 に接続されているコントローラに、REC ステータスを返すかの設定をします。

※この機能を ON にした場合に、再生動作が正常に機能しない場合があります。

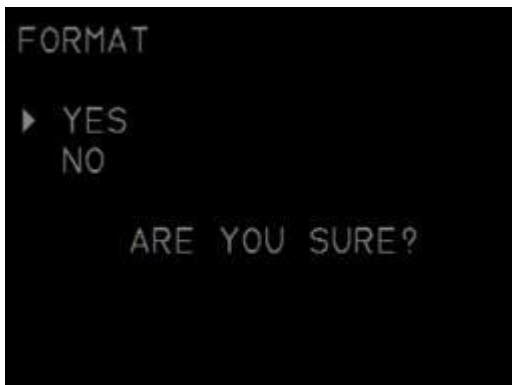
動作確認済みコントローラ : DNF 社 ST-300

5.) - 7 USER MENU - DISK



5.) - 7. - 1 USER MENU - DISK - FORMAT

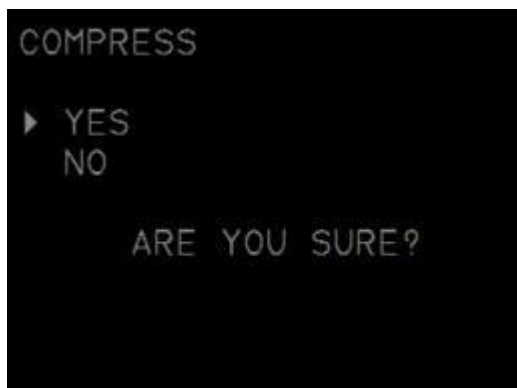
●ディスクをフォーマットします。全ての記録は消去されます。



○全ての記録が消去されます。操作は慎重に行ってください。

5.) - 7. - 2 USER MENU - DISK - COMPRESS

- コンプレスを実行します。



- コンプレスには、移動するシーンの実記録時間の 80%程度の時間を要します。

5.) - 7. - 3 USER MENU - DISK - DELETE SELECT

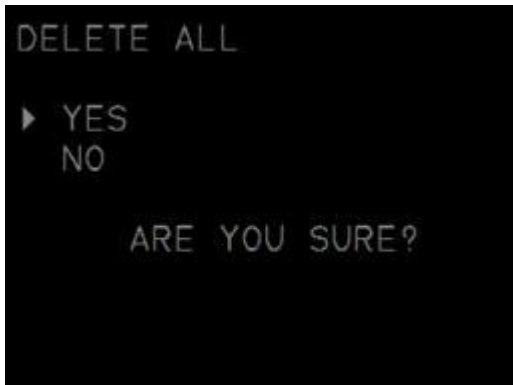
- 記録されている任意のシーンにデリートマークを付けます。



- REW/F. FWD(カーソル左右移動)・REC/PLAY(カーソル上下移動)でシーンの選択をします。
- Dマークのついたシーンが削除されるシーンです。
- SET キー押下でマーク、マーク解除を行います。
- 任意のシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。

5.) - 7. - 4 USER MENU - DISK - DELETE ALL

- 現在記録している全てのシーンにデリートマークを付けます。



- 全てのシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。
- 本操作後、DELETE SELECT でデリートマークの解除が行えます。

5.) - 7. - 5 USER MENU - DISK - IMPORT/EXPORT

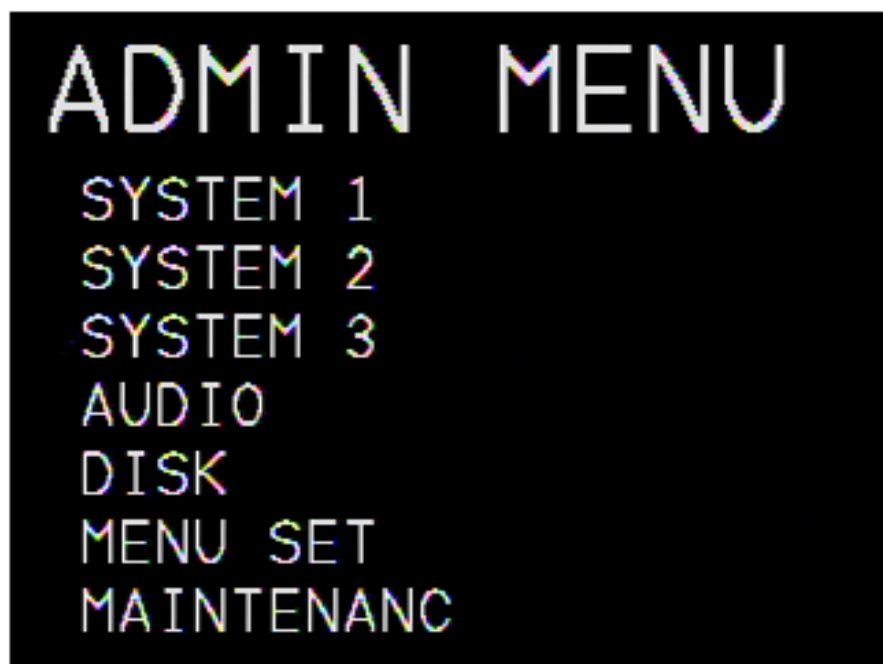
- シーンの IMPORT/EXPORT をします。※内部 PC を起動する必要があります。



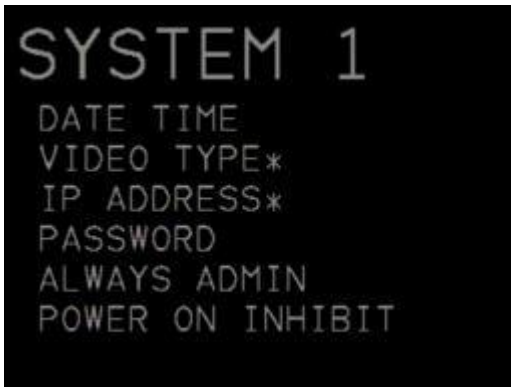
- PORT FROM/TO => IMPORT/EXPORT 先のメディア選択をします。
 - ※USB を選択している場合、接続するメディアは一つにして下さい。
 - ※SVR : D : は将来拡張予定で現在使用できません。 ※2016 年 5 月現在
- SCENE NO => EXPORT するシーン番号を選択します。
- Exec Import => 外部メディアにあるシーンが内蔵 HDD のシーンの後ろに追加します。
- Exec Export => SCENE NO で選択されているシーンを外部メディアに書き出します。

6.) ADMIN MENU

●アドミニストレータ（管理者）専用メニューです。



6.) - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1



6.) - 1. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME

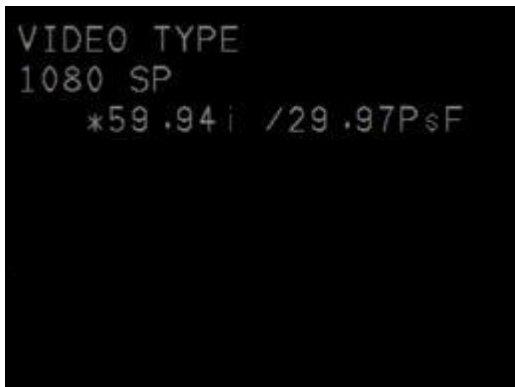
●内蔵リアルタイムクロックを合わせます。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-です。

6.) - 1. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM1 - VIDEO TYPE

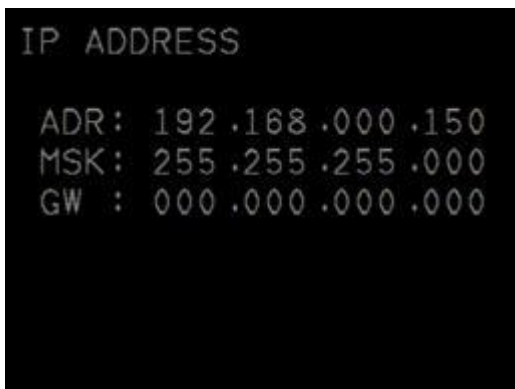
- ビデオタイプを選択します。



- VDRH-4000P では、1080 SP 59.94i / 29.97PsF に設定して下さい。
その他の設定では動作しません。

6.) - 1. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM1 - IP ADDRESS

- 本体の IP アドレスを指定します。



- REC キーで数値がインクリメント、PLAY キーで数値がデクリメントします。
- SET キーで確定、MENU キーで MAIN MENU を抜ける時に、電源を OFF するメッセージが表示されます。
- 電源再投入で新しい IP アドレスが有効になります。

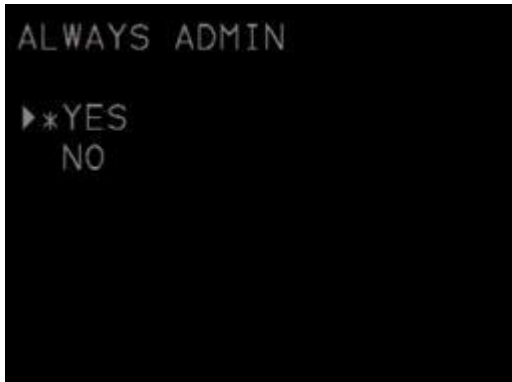
6.) - 1. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM1 - PASSWORD

●TCP/IP でアプリケーションと通信をする場合のパスワードを設定します。変更しないでください。

6.) - 1. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM1 - ALWAYS ADMIN

●立ち上げ時に任意のボタンの3つ押しで ADMIN メニューが出現します。

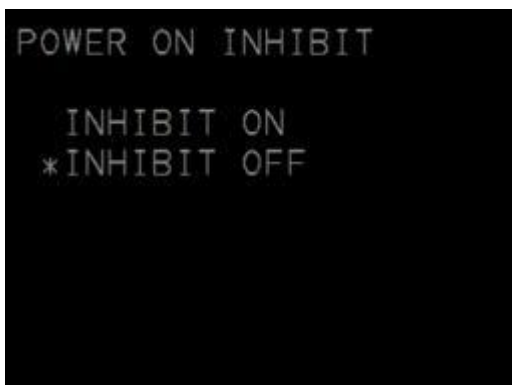
●呼び出し操作を毎回せずに ALWAYS ADMIN が表示されます。



```
ALWAYS ADMIN
▶*YES
  NO
```

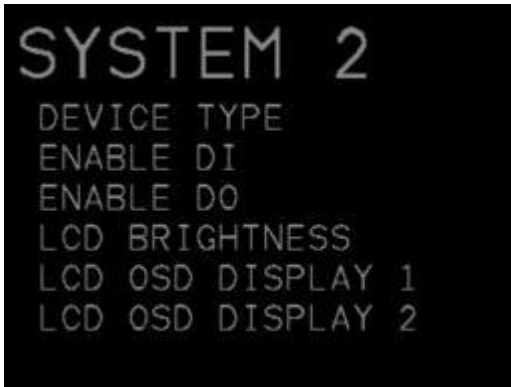
6.) - 1. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM1 - POWER ON INHIBIT

●立ち上げ時の INHIBIT 状態を選択します。



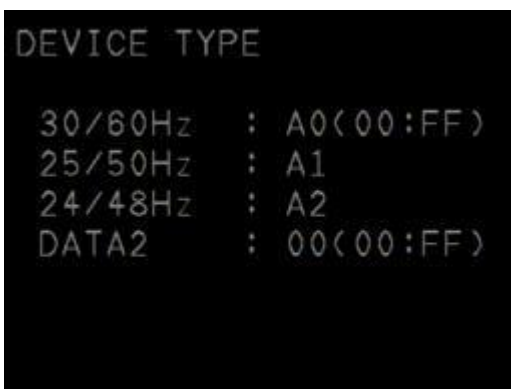
```
POWER ON INHIBIT
  INHIBIT ON
  *INHIBIT OFF
```

6.) - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2



6.) - 2. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM2 - DEVICE TYPE

●SONY 製コントローラが認識する、本機のデバイスタイプを指定します。



○最適化されています。ビデオレコーダの設定にすると、本機的能力を損なうことがあります。

6.) - 2. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2 - ENABLE DI

●GPI IN の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト)

DI 端子を使用しない設定です。

A : PLAY B : PLAY

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

B : PLAY B : STILL

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STILL します。

B : PLAY B : STOP

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STOP します。

A : REC A : REC STOP

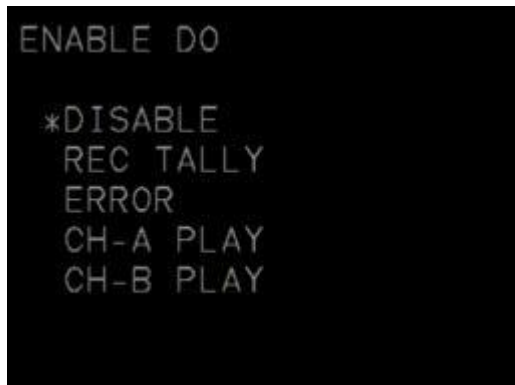
DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが REC START します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルの REC STOP します。

※VDRH-9000 では、DI-1 しか持っていないです。

6.) - 2. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM2 - ENABLE DO

●GPI OUT の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト) DO 端子を使用しない設定です。

REC TALLY : 録画を開始したときに DO 端子が ON になり、録画を停止したときに DO 端子が OFF になる設定です。

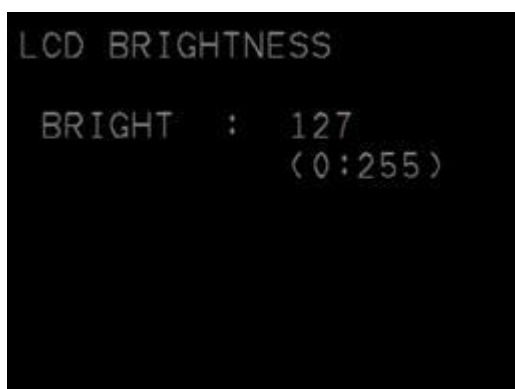
ERROR : VDRH シリーズ内部で何らかのエラーが発生した際に、ON になる設定ですが、現バージョンでは実装されていません。

CH-A PLAY : Ach が PLAY の時 ON します。

CH-B PLAY : Bch が PLAY の時 ON します。

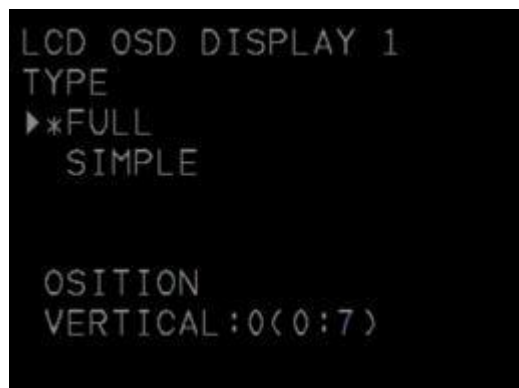
6.) - 2. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの明るさを設定します。



6.) - 2. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの表示設定です。



○TYPE FULL => 全ての情報を表示します。

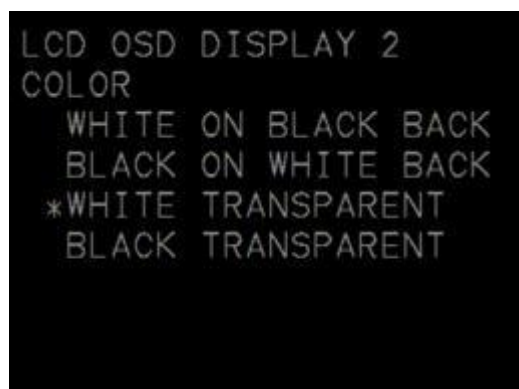
○TYPE SIMPLE => 再生状態、現在の選択シーン、タイムコードのみ表示します。

○TYPE OFF => 何も表示しません。

○POSITION => 垂直表示位置を調整します。

6.) - 2. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM2 - LCD OSD DISPLAY 2

●フロントLCDの表示文字の設定です。



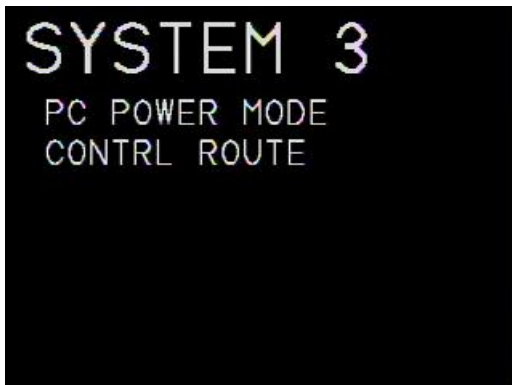
○WHITE ON BLACK BACK => 黒バックに白文字

○BLACK ON WHITE BACK => 白バックに黒文字

○WHITE TRANSPARENT => 白透過文字

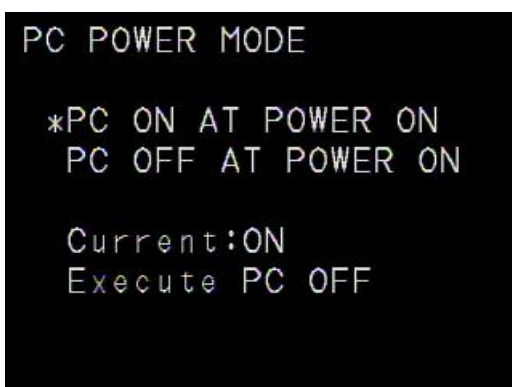
○BLACK TRANSPARENT => 黒透過文字

6.) - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3



6.) - 3. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM3 - PC POWER MODE

●本体起動時に同時に内蔵 PC を立ち上げるか選択をします。

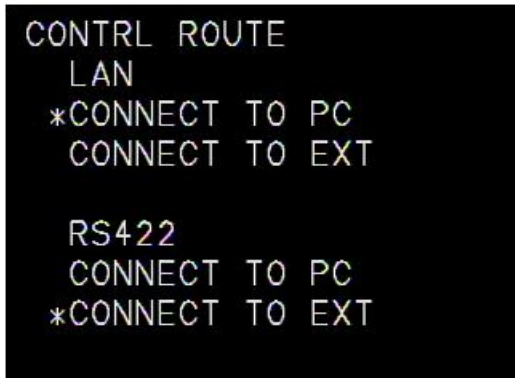


○Current => 内蔵 PC のステータスを表示します

○Execute => カーソルを合わせて SET ボタンを押すと、内蔵 PC の電源の ON/OFF ができます。

6.) - 3. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM3 - CONTROL ROUTE

●LAN 制御、422 制御を PC との接続と外部接続の切り替えをします。



```
CONTRL ROUTE
  LAN
  *CONNECT TO PC
  CONNECT TO EXT

  RS422
  CONNECT TO PC
  *CONNECT TO EXT
```

○LAN

内蔵 PC のアプリケーション使用の時は、CONNECT TO PC に設定して下さい。

※内蔵 PC が OFF の時は CONNECT TO EXT の動きをします。

外部 PC のアプリケーション使用の時は、CONNECT TO EXT に設定して下さい。

○RS422

内蔵 PC のアプリケーションで 422 制御を行う時は、CONNECT TO PC に設定して下さい。

外部コントローラを使用の時は、CONNECT TO EXT に設定して下さい。

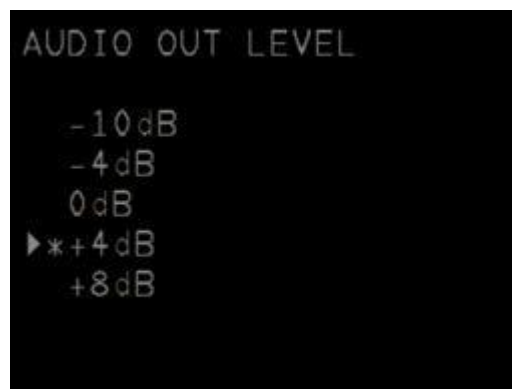
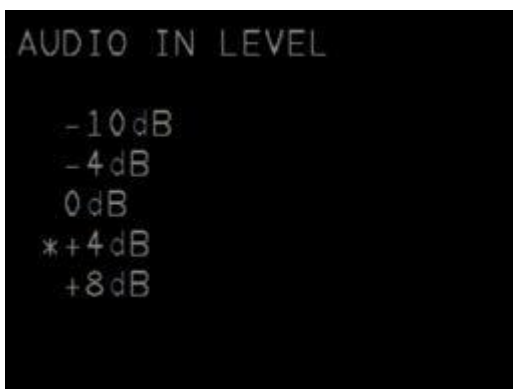
※2016 年 5 月現在 422 制御を行うアプリケーションはありません。

6.) - 4 ADMIN MENU - AUDIO



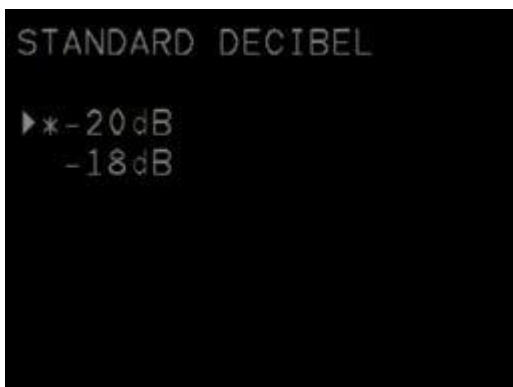
6.) - 4. - 1 ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO IN LEVEL / AUDIO OUT LEVEL

●音声の入力・出力基準レベルを選択します。オーディオオプションボックスを使用の場合のみの設定です。

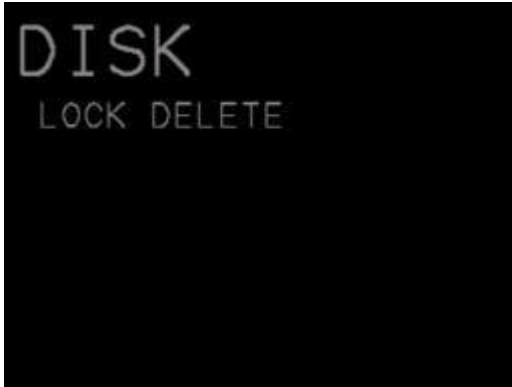


6.) - 4. - 2 ADMIN MENU - AUDIO - STANDARD DECIBEL

●デジタル音声の基準レベルを選択します。オーディオオプションボックスを使用の場合のみの設定です。

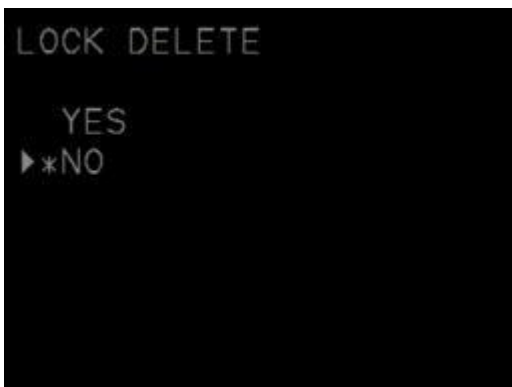


6.) - 5 ADMIN MENU - DISK



6.) - 5. - 1 ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE

●デリートマークの操作を不能にします。

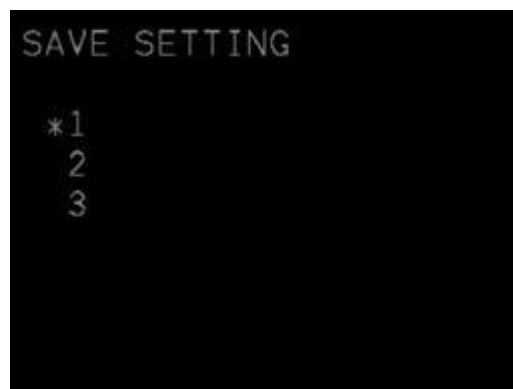
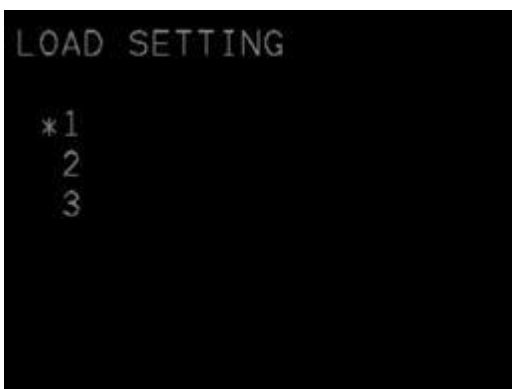


6.) - 6 ADMIN MENU - MENU SET



6.) - 6. - 1 ADMIN MENU - MENU SET - LOAD SETTING / SAVE SETING

●本体のメニュー設定を保存しおきます。3件まで登録できます。



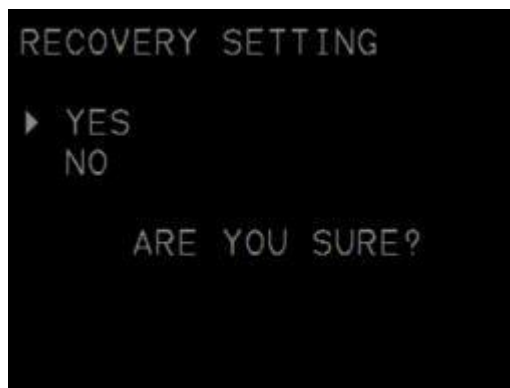
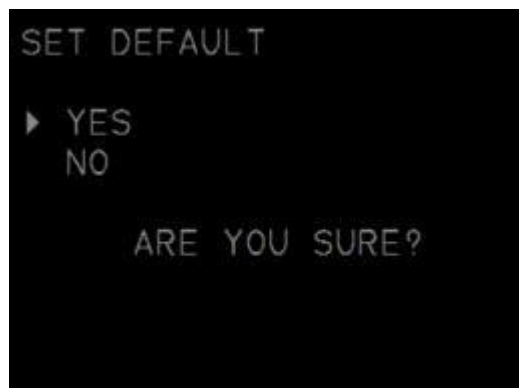
○SAVE SETTING で、現在の設定を保存します。

○LOAD SETTING で、保存した設定を呼び出します。SET キーで選択できます。

○選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 6. - 2 ADMIN MENU - MENU SET - SET DEFAULT / RECOVERY SETTING

●工場出荷時設定に戻します。記録された映像はそのままです。



○SET DEFAULT は、現在の設定を一旦 DEFAULT に戻す操作です。SAVE SETTING のデータには影響しません。

○RECOVERY SETTING は、SAVE SETTING のデータもクリアします。

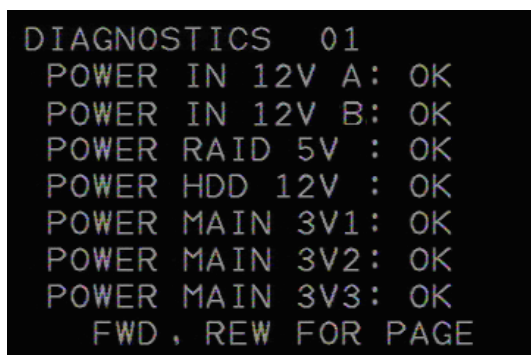
○選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 7 ADMIN MENU - MAINTENANCE



6.) - 7. - 1 ADMIN MENU - MAINTENANCE - DIAGNOSTICS

●自己診断の結果表示です。



○電圧、温度、ハードウェアの装着状態、ディスク状態などが表示されます。

“OK” と表示されているところは、自己診断で正常を確認した箇所です。

“- “ と表示されているところは、VDRH-4000P では未実装であることを示します。異常ではありません。

“NG” と表示されている場合は、自己診断で何らかの異常を検出した箇所です。

RAID 構成タイプでは、自己診断情報以外に、Rebuild 期間中、その進捗が割合 (%) にて表示されます。

また RAID Controller のバージョン情報が表示されます。

6.) - 7. - 2 ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW OP LOG

●オペレーションログを表示します。

```
SHOW OP LOG      NO.0001
YYMMDD HHMMSS  SSC000II
111028 191326 41040916
111028 191324 41041e16
111028 191201 4104093d
111028 190922 41041e3d
111028 190921 41041e3d
111028 190849 4104092f
FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

○操作日、操作時刻、操作内容の順に表示します。

6.) - 7. - 3 ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW ERROR LOG

●エラーログを表示します。

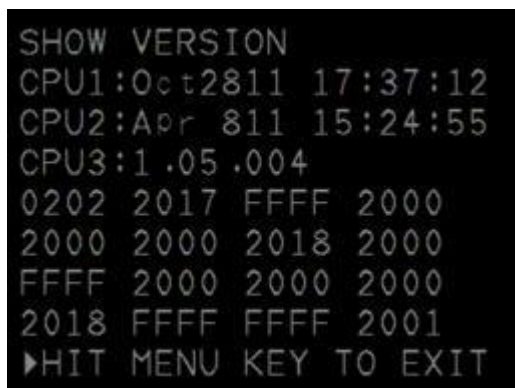
```
SHOW ERROR LOG NO.0001
YYMMDD HHMMSS  SSJJNNNN
111028 184205 03040027
111028 184204 03040026
111028 184202 03040019
111028 184202 03040029
111028 183924 03040015
111028 174144 03040027
FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

○発生日、発生時刻、エラー内容の順に表示します。

○エラー内容については、別紙エラーコード表・エラー対応表を参照して下さい。

6.) - 7. - 4 ADMIN MENU - MAINTENANCE - SHOW VERSION

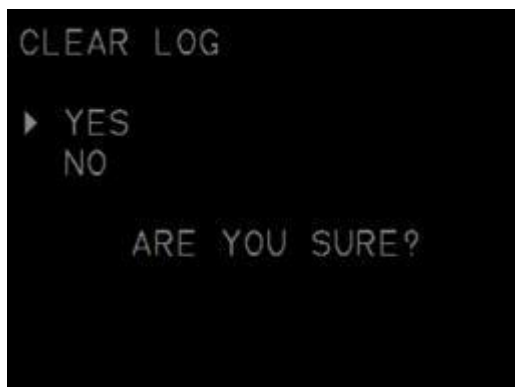
●ファームウェアのバージョンを表示します。



```
SHOW VERSION
CPU1:Oct2811 17:37:12
CPU2:Apr 811 15:24:55
CPU3:1.05.004
0202 2017 FFFF 2000
2000 2000 2018 2000
FFFF 2000 2000 2000
2018 FFFF FFFF 2001
▶HIT MENU KEY TO EXIT
```

6.) - 7. - 5 ADMIN MENU - MAINTENANCE - CLEAR LOG

●エラーログ、オペレーションログをクリアします。



```
CLEAR LOG
▶ YES
  NO
ARE YOU SURE?
```

○クリア後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 7. - 6 ADMIN MENU - MAINTENANCE - DOWNLOAD

●ファームウェアをイーサネットから更新します。

○専用ソフトウェアが必要です。

○メンテナンス専用です。

○DOWNLOAD モードに入ってしまった場合、一度電源を OFF にしないと抜けられません。

This image shows a full page of blank, lined paper. It features approximately 28 horizontal blue or grey lines spaced evenly apart, typical of notebook paper. The lines extend across the entire width of the page, leaving small margins at the top and bottom. There are no vertical lines, text, or other markings on the page.

サービスに関するお問い合わせは

株式会社 オンテック

ビデオコミュニケーションビジネスユニット

TEL : 03-5256-2061

FAX : 03-5256-2065

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目8番2号 神田プライムビル 10F

※本書に記載されている内容を実行したことにより発生したいかなる損害に対しても、弊社は責を負いかねます。

何らかの不都合により、正常に録画・再生ができなかった場合の補償、録画・編集した内容（データ）の消失、及び直接間接の損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

※本書の内容は改定のため予告なく変更されることがありますので予めご了承下さい。